

## 特別支援（生活単元学習）学習指導案

日時 平成24年10月4日（木）5校時

学級

場所 調理室

指導者

### 1 単元名 地元を知ろう・北上発見②

～FHオリジナル北上コロッケをつくろう。～

### 2 単元について

#### (1) 設定理由

本校では、1学期は「花見遠足をしよう」「FH農場で野菜をつくろう」「1学期がんばった会をしよう」をテーマとして取り組んだ。その学習（二子いもなどの栽培・カレーライスづくりなど）を通して、創作・調理活動の楽しさ・達成感を感じることができた。また、食べてもらい「おいしい」といわれることで自己肯定感・有用感を味わえた。

本単元では、実際に地域社会に向かい、北上コロッケのつくり方や、試食するなどの調査活動を通し、オリジナル北上コロッケを考え、制作（調理）し、お世話になった方に試食してもらうことを考えている。

生徒が主体的に興味を持って活動できる「食」を中心とする、「北上コロッケづくり」をポイントとして組み立てた。自分の活動が形となり、頑張りが目でわかる制作（調理）活動は生徒にとって魅力的な教材でもある。しかし、作業段階では、あきたり、面倒がったりする場面も見受けられる。また学級外では自分を出せず、コミュニケーションを築けない場合が多い。また、地域社会に出て一人で対応する活動場面はあまりない。

そこで、調査活動や買い物学習をする中で、家庭・学校以外の他者との接し方・対応の仕方などやマナーを学ばせる機会としたい。また、生徒の実態に合わせた日常生活に必要な技能（買い物・調理作業）習得練習の場としたい。特に、調査・調理活動においては、役割分担をきめ、自分の仕事をやり遂げる、協力して完成させることで成就感を持たせたい。さらに、仕事場に訪問しての調査活動であることから、働くことにも関心をもたせたい。そして、オリジナルコロッケを食べてもらう（評価してもらい）、ことで他者に感謝される喜びを経験させ、今後の学習・勤労意欲につなげたい。

以上のことを踏まえ、本単元を設定した。

#### (2) 他教科との関わり

- ①国語 手紙（お礼状）の書きかた
- ②数学 質量・体積単位 計器の使い方 金額計算
- ③社会 地図の見方
- ④理科 食品の栄養 人体（消化）

### 3 生徒について

情緒障がい（F組3年女子1名）、知的障がい（H組1年男子2名 2年男子2名女子1名 3年女子1名）学級で通常2組が合同で活動している。基本的な身の回り整理は全員が行え、日常的な意思疎通も可能であり、集団として活動できる。コミュニケーション不足での誤解やトラブルもあるが、場を設定しお互いの話をききあう中で解決している。全体として、概ね穏やかな雰囲気であり、それぞれの特性を自分なりに理解し、生活している。授業では、交流学級に行く生徒もあり、常に7人が同一の授業を受けているわけではない。授業や作業への集中力は個々によって違うものの、向かう姿勢は全般に意欲的である。特に、制作活動・調理実習は、興味をもって意欲的に行っている。生徒によっては、家庭で家事の手伝いをしており、手際よく行える。インターネットによる調べ学習についても、課題を明確にすることで、支援をうけながら行える。

### 4 単元の目標

#### (1) 単元の目標

- ①身近な地域の特産物を使った北上コロッケについて、興味をもって調べ、意欲的に調査活動を行うことができる。

②自分たちのオリジナルコロッケを考え、協力して作ることができる。

③日常生活に必要な技能を習得できる。

(2) 個別の単元目標～後述～

## 5 単元の指導計画

| 時数      | 学習活動  |
|---------|---|
| 1       | オリエンテーション 地元を知ろう。<br>学習計画を立てよう。(オリジナルコロッケ制作)      |
| 2       | インターネットで北上コロッケをつくっているお店を調べ、聞きたいことをまとめよう。          |
| 3       | 相手に失礼のない、じょうずな質問の仕方、話の聞きかたを練習しよう。インタビューの仕方を練習しよう。 |
| 4       | 飲食店を訪問し、「北上コロッケ」について教えてもらおう。                      |
| 5       | 数種類の北上コロッケを買って比較しよう。                              |
| 6       | FHオリジナル北上コロッケを考えよう。(レシピ作り)                        |
| 7       | コロッケのつくり方を確認し、役割分担しよう。                            |
| 8・9     | 試作しよう。  |
| 10      | 材料を決定し、買い物の計画を立てよう。                               |
| 11      | 材料を買いに行こう。  |
| 12      | FHオリジナル北上コロッケ作り ①しっかりした種をつくろう。                    |
| 13 (本時) | FHオリジナル北上コロッケ作り ②工夫してコロッケの形をつくろう。                 |
| 14      | FHオリジナル北上コロッケ作り ③たくさん作っておいしく揚げよう。                 |
| 15      | FHオリジナル北上コロッケを食べよう・食べてもらおう。                       |
| 16      | まとめをしよう。  |

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

①形を工夫して成形することができる。

②工夫した点を周囲に表現できる。

### (2) 本時の授業構想

制作活動を組み入れることで、興味・意欲を持って授業に参加させ、個々の目標に迫らせたい。また、自分の行った結果も完成品として出来上がるので自己評価しやすく、1時間を通しての達成感が得られるものと考えた。基本材料に自分たちで考えた材料を入れ、「FHオリジナル」とするが、成形も個々のオリジナルにとらえ、形作りを工夫し成形する段階を理解深化とした。

①説明する・・・単元目標の確認を行うことで意欲につなげ、その後、簡単に写真画像を提示し、イメージを持たせる。振り返りやすいように写真・紙板書は提示したままとする。正面ボードを確認しにくい生徒のために、個々のテーブルにも同様の手順用紙を用意する。  
ワークシートは必要最低限の記入とする。

②理解確認・・・演示や掲示物を見ながら、(支援を受けて)一人で1個簡単な形を確実につくることで理解確認とする。

③理解深化・・・数種類の成形した段階のもの・実際に衣をつけてあげたものを見本を見せ、あげたときの形のイメージを持たせる。その後、オリジナリティーのある、個々のイメージに迫れるようなものを工夫できるよう、形作りに時間をとって、楽しませながら意欲的に作業させたい。工夫に困難さのある生徒には単純な成形を指示し、完成品を作り上げることで達成感を持たせたい。

④自己評価・・・完成品を見て、個々に確認をしながら、ワークシートに記入・記述させる。工夫した点・頑張りを述べられるよう支援する。  
聴く態度は、習得した話の聞きかたの再確認となるので、発表者に注目するようにアドバイスする。

### (3) 評価の観点と評価規準～個別の単元目標参照～

(4) 本時の展開

| 段階                    | 学習活動と留意点  | 教師のはたらきかけと主な支援 教材・教具   |
|-----------------------|---|--|
| 教<br>え<br>る           | <p>教師の説明</p> <p>①FHオリジナル北上コロッケをつくることを確認する。<br/>・材料の確認とオリジナルにした点を明確にさせ、作業意欲につなげさせる。</p> <p>②本時の課題を確認する。<br/>工夫して「FHオリジナル北上コロッケ」の形をつくろう。</p> <p>7分</p> <p>・コロッケのつくり方の流れを提示し、前時までの作業をふりかえらせ、本時の作業内容を明確にさせる。<br/>・ワークシートに課題(めあて)記入させる。</p> <p>③本時の作業手順を演示しながら説明をする。<br/>Ⅰ前時に作った種を同じ分量になるように器具を使って分ける。<br/>Ⅱ形を工夫して整える。<br/>・ⅠⅡの作業を各自行うことを知らせる。<br/>・その後、表示に従って後片付けを行うことも知らせる。</p>  | <p>・作業身なり(白衣・三角巾着用)を行った状態で開始<br/>・写真と紙板書による全体説明<br/>T2 説明写真の提示</p> <p>・写真と紙板書による全体説明<br/>T2 生徒B・Fのかき方支援</p> <p>・手順ごとの作業写真の提示<br/>・同様の写真手順シートをテーブルごとに用意<br/>T2 作業演示を注目するよう個別支援</p>                        |
| 考<br>え<br>さ<br>せ<br>る | <p>理解の確認</p> <p>8分</p> <p>①分量仕分けと成形作業を、演示説明に従って各自1個小判型を試作する。<br/>・清潔に作業するための準備(手洗い・手袋ラップ)をしかりさせる。<br/>・作業場所に移動し、手順に従って作業させる。</p> <p>②完成品を見せ合い手順通りにできたかを確認する。<br/>・器具を使用し分けることができたことを挙手で確認させる。</p>   | <p>・作業場所に移動<br/>・道具は各自用意(種・アイスディッシャー・まな板・ラップ・バット)<br/>T1 Fの器具を使い説明し模倣するよう支援<br/>T2 Bを中心とした支援<br/>T2 Fの挙手表現を支援</p>  |
|                       | <p>理解深化</p> <p>30分</p> <p>①成形しただけのものと、実際にあげたコロッケを数種類用意し、提示する。<br/>・複雑な形はあげても目だたないことを知らせる。<br/>・あげてから工夫してもよいことを知らせる。</p> <p>②再度、課題の確認をする。<br/>・黒板に注目させ、一斉に読み上げて確認させる。</p> <p>③分量を量りとり、工夫した形に整える。<br/>・器具を正しく使用し、同じ分量通り量ればよいことを確認し、作業させる。<br/>・下に形を書いてラップを敷いて成形させる方法でもよいことを知らせる。<br/>・迷うようであれば、提示したコロッケの形に整えさせる。<br/>・工夫している生徒の様子を伝えながら、楽しい雰囲気をつくらせる。</p> <p>④教師の指示を受け、表示に従って各自後片付けを行う。<br/>Ⅰ使用した手袋ラップを捨てる。<br/>Ⅱ残った種はラップをして冷蔵庫に入れる。<br/>Ⅲ道具を表記された所定の場所に返す。<br/>Ⅳ早く終えた生徒が作業テーブルを拭く。<br/>Ⅴ完成品をもって元の場所に戻る。</p> <p>⑤一人一人 完成品を見せながら、感想を発表する。<br/>・特に工夫した点を、表現させる。</p> | <p>・単純な形と複雑なものを用意</p> <p>T1 主にABCDグループ支援<br/>T2 主にEFGグループ支援<br/>工夫している生徒への評価と励まし<br/>・個々の作業取り組みによって形作りのヒントを提示<br/>B→単純な形をアドバイス<br/>F→型紙を使用しての成形<br/>上記以外の生徒→1つできたら、別な形作りに挑戦しようアドバイス</p> <p>・最初の位置に移動</p> |
|                       | <p>自己評価</p> <p>5分</p> <p>①ワークシートを利用し、本時の学習内容を振り返る。<br/>・自己の目標が達成できた・できなかったを記号評価・文章記述させる。</p>  | <p>・最初の位置に移動<br/>T2 B・Fへの記号評価支援</p>  |

4 個別の単元目標

| 学級<br>学年<br>性別   | 生徒の実態                                    | 評価の観点と評価規準 個別の指導計画目標と合致するもの (◎)  |   |   |  |   |  |   |
|------------------|--|--|---|---|--|---|--|---|
|                  | 学習への意欲<br>など                             | 人との関わり<br>方・接し方  | 情報収集  | オリジナルコロ<br>ック思考・制作<br>(含・本時)  | 買い物  | 手順に沿った作<br>業 (含・本時)   | 分担作業                                   | 感謝の気持ちを<br>表す                           |
| A<br>知<br>1<br>男 | 積極的<br>作業能力があ<br>る<br>定着に時間が<br>かかる      | ・進んで挨拶がで<br>きる。<br>◎メモを見て必<br>要内容を話すこ<br>とができる。<br>・相手を見て聞く<br>ことができる。 | ◎単語でメモを<br>取ることができる。                                | ・目的に合ったア<br>イデアを考える<br>ことができる。<br>・自分が考えた形<br>をつくることが<br>できる。<br>・積極的に表現で<br>きる。  | ◎必要物品量・金<br>額等を計算でき<br>る。<br>・目的のものを買<br>える。     | ・道具を目的通り<br>に使いこなすこ<br>とができる。<br>・素早く作業でき<br>る。                         | ・周囲を見ながら<br>手早くできる。<br>・他への支援がで<br>きる。 | ◎伝える内容を<br>確認し、言葉や文<br>章で伝えること<br>ができる。 |
| B<br>知<br>1<br>男 | 意欲的<br>几帳面<br>こだわりが強<br>い                | ・進んで挨拶がで<br>きる。<br>・メモを見て必要<br>内容を話すこと<br>ができる。<br>・相手を見て聞く<br>ことができる。 | ・簡単にメモを取<br>ることができる。                                | ・他者の意見を聴<br>き、考えることが<br>できる。<br>・教師の支援を受<br>け、形を整えるこ<br>とができる。                    | ・必要物品量・金<br>額等を計算でき<br>る。<br>・目的にあった買<br>い物ができる。 | ◎道具を目的通<br>りに使いこなす<br>ことができる。<br>・確認シートを見<br>たり、進んで質問<br>しながら作業で<br>きる。 | ◎作業分担がわ<br>かり、時間内にで<br>きる。             | ・言葉や文章で伝<br>えることができる。                   |
| C<br>知<br>2<br>男 | 丁寧な作業内<br>容<br>興味あるもの<br>への集中力大<br>気分で活動 | ・進んで挨拶がで<br>きる。<br>・必要内容を大き<br>な声で話すこと<br>ができる。<br>・相手を見て聞く<br>ことができる。 | ・メモを取りなが<br>ら話が聞ける。<br>・疑問に思ったこ<br>とを積極的に質<br>問できる。 | ・目的に合ったア<br>イデアを考え、発<br>表できる。<br>・自分が考えた形<br>を複数つくるこ<br>とができる。<br>・積極的に表現で<br>きる。 | ・必要物品量・金<br>額等を計算でき<br>る。<br>・目的にあった買<br>い物ができる。 | ・道具を目的通り<br>に使いこなすこ<br>とができる。<br>・素早く作業でき<br>る。                         | ◎周囲を見なが<br>ら手早くできる。                    | ・自分の気持ちを<br>言葉や文章で伝<br>えることができる。        |

|                  |  |  |   |   |                                      |  |                         |                           |
|------------------|--|--|---|---|--------------------------------------|--|-------------------------|---------------------------|
| D<br>知<br>2<br>男 | 作業が早い<br>他者にアドバイスできる<br>定着に時間がかかる      | ・進んで挨拶ができる。<br>・必要内容を大きな声で話すことができる。<br>・相手を見て聞くことができる。 | ・簡単にメモを取ることができる。                        | ・自分が考えた形をつくることができる。<br>・積極的に表現できる。                            | ◎必要物品量・金額等を計算できる。<br>・目的にあった買い物ができる。 | ・手順通りに素早く作業できる。                          | ・自分の作業を手早く行い、他への支援ができる。 | ◎言葉や文章で伝えることができる。         |
| E<br>知<br>2<br>女 | 積極的<br>作業に時間がかかる<br>他者にアドバイスする<br>創作好き | ・進んで挨拶ができる。<br>・必要内容を大きな声で話すことができる。<br>・相手を見て聞くことができる。 | ・メモを取りながら話が聞ける。<br>・疑問に思ったことを積極的に質問できる。 | ・目的に合ったアイデアを考え、発表できる。<br>・自分が考えた形を複数つくることができる。<br>・積極的に表現できる。 | ・必要物品量・金額等を計算できる。<br>◎目的に合った買い物ができる。 | ◎道具を目的通りに使いこなすことができる。<br>◎正確に作業できる。      | ・自分の作業が時間内にできる。         | ・言葉や文章で伝えることができる。         |
| F<br>知<br>3<br>女 | 教師を模倣し<br>習得<br>発声に難                   | ◎挨拶・お礼ができる。  | ・教師の支援を受け、単語でメモを取ることができる。               |   | ・目的のものを選べる。<br>◎必要金額がわかり、支払える。       | ・指示を見聞きしながら作業できる。                        | ◎自分の作業内容が最後までできる。       | ◎模範例に従って、言葉や文章で伝えることができる。 |
| G<br>情<br>3<br>女 | 積極的<br>作業能力がある<br>アイデア豊富<br>創作好き       | ・進んで挨拶ができる。<br>・必要内容を大きな声で話すことができる。<br>・相手を見て聞くことができる。 | ・メモを取りながら話が聞ける。<br>◎疑問に思ったことを積極的に質問できる。 | ・目的に合ったアイデアを考え、発表できる。<br>・自分が考えた形を複数つくることができる。<br>◎積極的に表現できる。 | ・必要物品量・金額等を計算できる。<br>・目的にあった買い物ができる。 | ・道具を目的通りに使いこなすことができる。<br>・手順通りに素早く作業できる。 | ◎自分の作業を手早く行い、他への支援ができる。 | ◎言葉や文章で伝えることができる。         |

# 教室(調理室)配置図

